

ブックトーク実演に際してのお願い

【対象学年について】

- 岐阜市立図書館が作成しているブックトークのプログラムは、中学年と高学年を対象としています。低学年の児童のみなさん向けには、派遣ボランティアによる読み聞かせをお勧めしております。

【使用教室と、ご用意していただきたいものについて】

- 当日は、1時間～30分前には学校に到着する予定でおります。到着後、開始前に教室や投影機のセッティングをさせていただきます。前の時間に他の授業などで教室を利用されていますと、セッティングが行えず、またその授業の妨げにもなってしまいますので、前の時間（少なくとも30分前）から空いている教室をブックトークの会場としてご用意ください。
- 長机2脚
教室のブックトーク実演側（通常は黒板側）に用意ください。ブックトークを行いながら紹介本を並べていきます。
- 実物投影機
ブックトークの実演では、実物投影機を使用します。実際の本のページを映して全員に内容をお見せしますので、児童から向かって左側（無理なら右側でも可）、長機のそばあたりに置いてください。
 - 実演中に手元でズームや明るさの機器操作を行いますので、パソコン経由ではなく必ずテレビに直接接続をお願いします。
 - 映した絵が横に伸びてしまわないように、テレビの画面モードはワイドではなくノーマルモードに設定します。リモコンのご用意か事前の設定をお願いします。※実物投影機が無い場合は、図書館にお知らせください。持参も可能です。
- カーテン
ブックトーク実演側（通常は黒板側）の窓に、カーテンか暗幕を下げただけとありがたいです。会場の前半分に光が入らないようにできれば結構です。テレビ画面の反射等防止のためをお願いいたします。
- 児童のみなさんの並び方は、前から5～6列におさまるとちょうど良いかと思えます。あまり後ろに広がると本が見えづらくなります。
- 児童のみなさんには床に直接座って見ていただくことが多いです。椅子に座って見ると、机に並べた紹介本がうしろの方まで見えにくい場合があります。
- ブックトークを実演する背後には、掲示物や板書をできるだけ控えてください。紹介本などがはっきり見えるよう配慮しています。

【紹介する本の購入について】

- ブックトークで紹介する本は、児童のみなさんが読みたい気持ちの大きい時にすぐに手にとれるよう、学校図書室で購入していただいております。実演前や、実演後あまりに時間がたってからでなく、タイミングよく手渡せるように、ご準備ご配慮をお願いいたします。
- 当日、実演に使用する本は岐阜市立図書館から持参しますので、学校図書室で購入していただいた本を使用教室に準備していただく必要はございません。

【児童のみなさんのために配慮することについて】

- ブックトークを行うにあたり児童のみなさんに対して配慮すべきことや、言葉などで触れて欲しくないことがあれば教えてください。例えば、
 - 最近両親の離婚があった
 - 家族が病気や怪我で療養中、もしくは病気や事故で亡くなった
 - 本人は学校に登校できるが、病気療養中、もしくは障害を持っている
 - 授業中じっとしてられない子がいるが、注意は控えて欲しい …等です。

【実演風景のタブレット等での撮影・配信について】

- 本には、作成した著者や出版社の権利が存在します。
- iPad などのタブレットで、実演風景を欠席の児童に向けてリモート配信する際は、以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。
 - 配信先で授業（ブックトーク）を見るのは、対象児童のみにしてください。
 - 配信は、リアルタイム中継（授業時間と同時の視聴）に限り、オンデマンド形式（異時の公衆送信）やストリーミング形式（アクセスできるのはパスワード保持者のみであるものの、一定期間閲覧可能）での配信は行わないでください。
 - TV 画面に本を映す以外にも、本やその他の小道具を手を持って見せることがあります。撮影される場合は、TV 画面と演者の両方が入る画角をおすすめします。

以上ご面倒をおかけします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

岐阜市立図書館